

研究助成の概要. I

- ① 東日本大震災のデータに基づく南海トラフ地震後の東海地方 3 県における道路復旧予測に関する研究
- ② 国立大学法人 岩手大学 理工学部 システム創成工学科 社会基盤・環境コース
- ③ 准教授 齋藤 貢
- ④ <http://www.cande.iwate-u.ac.jp/hozen/index.htm>

1. 研究分野及び題目

(II-5) デジタル道路地図の利活用に関する研究

2. キーワード

東日本大震災、G-BOOK、通れた道マップ、クラスター分析、道路復旧、南海トラフ地震、機械学習

3. 研究内容

(1) 研究の目的

広範囲に渡る自然災害が起きた場合、被災状況の把握はもちろんのこと迅速な被災地支援や復旧活動を行うに当たり、道路復旧の優先度をどう判断するかは復旧のスピードに大きく影響を及ぼす。本研究では、近い将来起こると想定されている南海トラフ地震後の東海地方（静岡県・愛知県・三重県）を対象に、復旧・復興に寄与する地域道路の回復状況を地域性や時系列の観点でシミュレートすることを目的としている。

(2) 研究のゴール

いつ起こるかわからない南海トラフ地震に備えて、減災や被災後の迅速な復旧活動をシミュレートすることは重要である。本研究の対象とする東海地方3県が、東北地方太平洋側3県と地形環境（リアス式海岸、砂浜海岸、平野・山地部など）の立地が比較的似ていることから、東日本大震災の被災3県のデータを基にした東海地方3県の道路回復状況予測モデルの構築は、被災地の迅速な復旧を進めるための一助になると考えられる。

